



むじようかん  
無常感

しみじみと古戦場

とりいたい  
鳥井平の墓所

む

野辺地戦争戦死者の墓所（県史跡）  
一八六八年（明治元年）、新政府軍の津軽軍と旧幕府軍の南部軍が野辺地で戦いました。この戦いで津軽軍は多くの戦死者を出しました。野辺地橋から馬門への県道ぞいの墓石四基には津軽軍の兵士二十七名の名が刻まれていて、この場所は「鳥井平の墓所」とも呼ばれています。



めいてんのう  
明治天皇が

お泊りになった

あんざいしよ  
行在所

め

行在所  
行在所とは天皇の仮の宿のことです。明治天皇は野辺地の行在所に明治九年の東北巡幸と明治十四年の北海道巡幸のさいにお泊りになりました。今も役場のそばに立派な庭園とともに行在所が残っています。行在所は六代目野村治三郎家の別荘でした。



にど  
もう二度と

せんそう  
戦争はしません

ちゅうこんび  
忠魂碑

も

忠魂碑  
愛宕公園の頂上に大きな三基の碑が建っています。野辺地出身で戦争で亡くなった霊をなぐさめています。忠魂の大きな文字が刻まれている碑は日露戦争、我武雄揚は日清戦争、殉国乃靈碑は日中戦争や太平洋戦争の碑で、たくさんの方が戦争で亡くなりました。



やまな  
山並みに

まち  
町のシンボル

えぼしだけ  
烏帽子岳

や

烏帽子岳  
烏帽子岳は高さ七一九メートル。老若男女だれでも登れる山として、県外からも登山者が訪れています。登山コースに沿って流れる枇杷野川は、草木の四季を美しく写し、心をなごませます。頂上からは、八甲田連峰や下北半島、小川原湖、晴天の時は太平洋の白波、北海道も見えます。